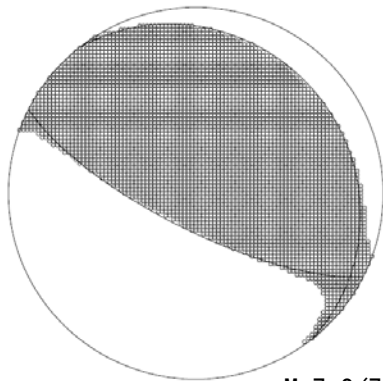


5月9日 インドネシア、スマトラ北部の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phase による解

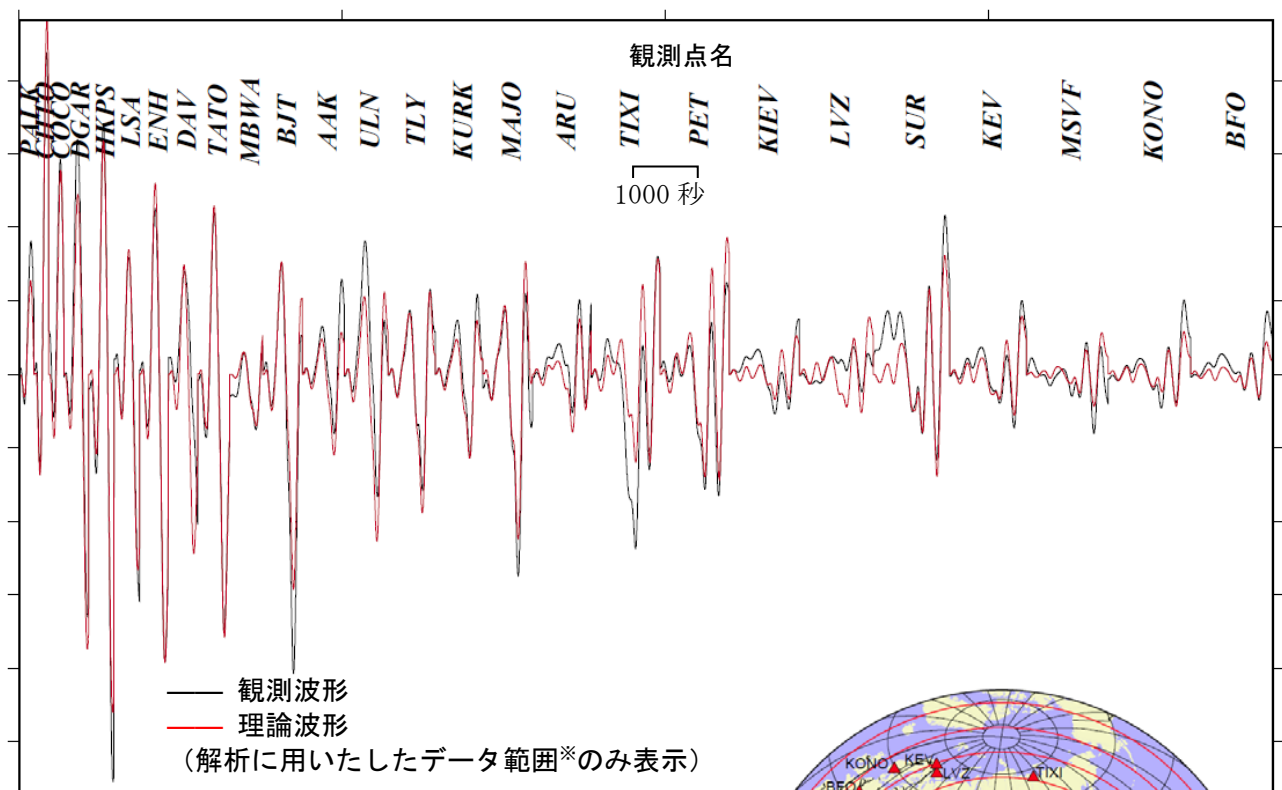


Mw7.2 (7.21)

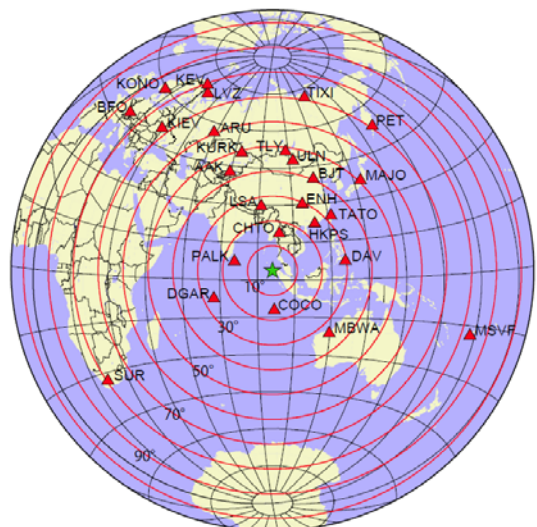
2010年5月9日14時59分（日本時間）にインドネシア、スマトラ北部で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mw とも、Global CMT など他の機関の解析結果とほぼ同様であり、Mw は 7.2 であった。最適位置は $N3.6^{\circ}$, $E95.4^{\circ}$ となった。

W-phase の解析では、震央距離 $10^{\circ} \sim 90^{\circ}$ までの 26 観測点の上下動成分を用い、200~1000 秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。



※解析に用いたデータの範囲は 15 秒×震央距離（度）としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。



解析に使用した観測点配置

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用しました。記して感謝します。